

第4回 牧野由多可賞作曲コンクール

本 選

2011年1月29日(土)14時開演
紀尾井ホール

主 催
牧野由多可の会

後 援

(株)邦楽の友社 (有)邦楽ジャーナル (財)日本伝統文化振興財団

ごあいさつ

牧野由多可の会 代表 砂崎知子

本日は第4回牧野由多可賞作曲コンクールにお越し頂きまして誠にありがとうございます。

昨年は牧野先生の生誕80年の年ということでコンクールの代わりに作品展を開催し、当会場に沢山のお客様をお迎えして、賑やかに先生をお祝い致しました。本年はまた先生のご命日にこうしてコンクール開催の運びとなりました。

今回は編成の少し大きい曲ということで募集しましたところ、11作品の応募がありました。

譜面審査の結果、本日演奏されます3作品が本選に残りました。御来場の皆様と共に新しい作品に期待したいと思います。

終わりになりましたが、今年から新しく審査をお願いする事になりました金光威和雄先生、松下功先生をはじめ初回から審査をお願いしております先生方、二人の指揮者の方、沢井忠夫合奏団・正派合奏団・日本音楽集団の皆様、また他の多くの賛助出演の皆様に御協力を頂きました事をここに改めて御礼申し上げます。

2011年1月29日

第1部 本選作品

●第4回牧野由多可賞作曲コンクール課題

邦楽器による、やや規模の大きな編成の合奏曲。

(4パート以上による編成で、演奏者数10名以上25名以内とする。)

演奏時間10分以上20分以内。

作曲家 金光威和雄、松下 功両氏による第一次譜面審査の結果、次の3作品が選出されました。

「奏 聞 (そうもん)」 岡田 正昭 作曲

指揮：稻田 康

能管：西川 浩平

尺八：竹井 誠 元永 拓 原郷 隆 阪口 夕山

箏1：松村エリナ カーティス・パターソン 箏2：外山 香 山野安珠美

十七弦1：丸田 美紀 磯貝 真紀 十七弦2：福田 優子 三浦 可栄

三弦1：小林 道恵 三弦2：梶ヶ野亜生 (沢井忠夫合奏団 他)

「水 魚 (あめんぼ)」 大胡 恵 作曲

指揮：金井 俊文

篠笛：渡辺 紅山

尺八：川村 葵山

細棹三味線：杵家 七三 太棹三味線：工藤 哲子

箏1：宇野雅楽恵 箏2：浅沼雅詩盈

十七弦：野沢 雅世

打楽器：細谷 一郎 山澤 洋之 堅田 喜子 島村 聖香

(正派合奏団 他)

「心象風景（しんじょうふうけい）」

エリザベス・ブラウン 作曲

指揮：稻田 康

能管：西川 浩平

尺八：竹井 誠 原郷 隆 元永 拓

笙：西原 祐二

三味線：山崎千鶴子

箏：桜井 智永 田村 法子 久本 桂子

打楽器：盧 慶順

(日本音楽集団)

第2部 牧野由多可 作品

1 鮎のかげ

二十絃箏：吉村 七重

2 尺八独奏《蒼茫》

尺八：難波 竹山

休憩

表彰式

作曲者紹介

●岡田正昭

大阪音楽大学（作曲専攻）大学院修了。

平井康三郎氏に師事。

いづみホールにて作品リサイタル。

「岡田正昭歌曲集」音楽の友社より出版。

現在、大阪音楽大学講師、詩と音楽の会会員、日本童謡協会会員、関西現代音楽交流協会会員。

●大胡 恵

2005 東京藝術大学卒業

2008 日本音楽コンクール第3位

2009 日本音楽コンクール第2位

●エリザベス・ブラウン

フルート専攻にて米国ジュリアード音楽学校を卒業後、1984年より尺八をラルフ・サミュエルソン氏に師事。琴古流ならびに現代音楽の両方を演奏するほか、和楽器と西洋楽器の融合作品も多数作曲し、欧米をはじめとする世界に発信している。2004年、ニューヨークでのビッグアップル尺八イベントや2008年シドニーでの世界尺八フェスティバルにゲスト出演。尺八、フルート、テルミンなどの演奏と作曲の両面の活動実績が認められ、2007年のグッゲンハイム奨学金をはじめ、オルフェウス、アジア文化協議会、ニューヨーク芸術財団、日米友好基金などの団体より、多くの奨学金および作品の委嘱を受ける。米国内外での演奏活動の機会も多く、ソロフルーティストとしてのCD録音多数。

審査委員

審査委員長：小島 美子

審査委員：金光威和雄 田村 拓男 松下 功 山本 邦山 (五十音順 敬称略)

牧野由多可の会より 砂崎 知子 石川 憲弘

牧野由多可

1930年生まれ。作曲を山田耕筰、ピアノを豊増昇、井口基成、レオ・シロタの各氏に師事。1953年日比谷公会堂で作品発表会を開催、「ピアノ協奏曲No.1」で芸術祭作曲大賞受賞。この頃より、日本の伝統芸術に興味を持ち、邦楽、狂言、能などを研究。後の作曲に大いに生かされている。ラジオの為のオペラ「あやめ」(1960年度芸術祭大賞)、狂言によるオペラ「くさびら」(1961年度芸術祭奨励賞)、「胡弓三章」(1974年度芸術祭優秀賞)など数多くの作品を作曲。それまでの活動が高く評価され、1995年に紫綬褒章、2004年に旭日小綬賞を受賞した。

作品は、オーケストラ、オペラから映画、放送音楽まで多岐にわたる。現代邦楽の分野においては、先駆者の一人として、特に十七絃、太棹三味線、胡弓等の楽器、また、日本の伝統的発声による声楽曲の可能性を大きく広げた功績は、絶大な評価を得た。2005年逝去。

今後の予定

第5回牧野由多可賞作曲コンクール

2012年1月29日(紀尾井小ホール予定)

<課題>

邦楽作品。演奏時間10分以上20分以内。編成は、演奏者6名以内とする。

箏(十三絃)、十七絃箏、二十絃箏、三絃、尺八(6寸、8寸管で演奏可能な範囲)の中から2種類以上の楽器を用いる合奏曲。独奏曲、歌曲、上記以外の楽器は対象外とする。

『牧野由多可作品集I』

- ・邦楽器のためのEssay
- ・十七絃と邦楽器群のための変奏曲「接点」
- ・胡弓三章
- ・二十弦二面のための「雨月」
- ・二重協奏曲「波の詩」
- ・太棹協奏曲
- ・十七弦三重奏曲「遊響」
- ・箏とチエロの為のモザイク
- ・清見寺の鐘声
- ・行雲

平成16年4月26日発行
定価 5,000円(税込)

『牧野由多可作品集II』

- ・笛・蛙よ
- ・尾花沢・お染さん
- ・風紋
- ・尺八独奏《蒼茫》
- ・二十絃、尺八による《酒》
- ・三重奏曲《花舞》
- ・夜想曲と舞曲
- ・茉莉花
- ・カプリッチオ
- ・春の海幻想

平成19年1月29日発行
定価 5,000円(税込)

牧野由多可の会

砂崎 知子 友渕のりえ 石川 憲弘 横山 裕子 木田 敦子 松坂 典子
渡邊 敏 須藤 公夫 畑上 保水

Tel&Fax 03-3959-5828

Email yutakanokai_composers@yahoo.co.jp
<http://www.hougaku.co.jp/yutaka/index.html>